

令和3年度 工学部学校推薦型選抜Ⅰ 学生募集要項

【重要】令和3年度入学者選抜の実施について

新型コロナウイルスの感染状況により、令和2年度に本学が実施する令和3年度入試において、この募集要項に記載されている選抜方法、選抜日程等を変更して実施することが予想されます。その場合は、ホームページを通じて随時情報を発信しますので、確認してください。

福井大学ホームページ（受験生の方へ）：https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/

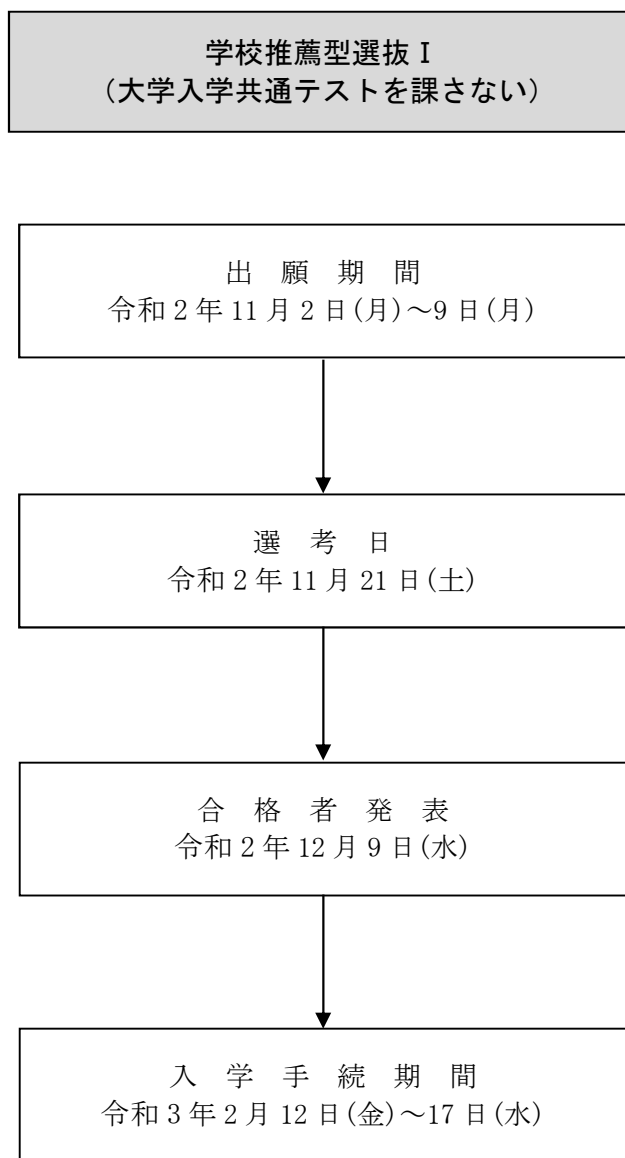
令和2年9月

格致によりて 人と社会の未来を拓く



令和3年度 福井大学工学部学校推薦型選抜Ⅰ 日程の概要

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合も含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部に限られるので注意してください。



<注意>

- ・ 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・ この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
[福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・ 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。

目 次

I. 工学部アドミッション・ポリシー	1
II. 学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない)	
1. 募集人員, 出願資格, 推薦要件等	6
2. 出願手続	6
(1) 出願期間	6
(2) 出願方法	7
(3) 出願書類等	8
(4) 検定料の支払方法	9
(5) 受験票の印刷	10
(6) 障がいのある入学志願者等の事前相談	10
3. 選抜方法等	11
(1) 選抜方法	11
(2) 配点	12
4. 合格者発表等	12
5. 入学手続	12
(1) 入学手続期間・方法	12
(2) 入学手続時に要する経費	12
(3) 留意事項	12
6. 不合格となった場合の取扱い	13
III. 個人情報利用	13
IV. 入学志願者のための案内	14

I. 工学部アドミッション・ポリシー

(1) 工学部で養成する人材像

工学部では、「安全で安心な社会の創造」に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。この方針のもと、人材養成の基本コンセプトとして「グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者“グローバルイマジニア”の育成」を掲げ、安全で安心な社会の創造のための知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力、さらに歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を備えた高度専門技術者を養成します。

各学科では、以下のような人材を養成します。

機械・システム工学科	多種多様な革新的機械・システム技術の創造や原子力の安全性向上に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成します。
電気電子情報工学科	電気工学から発し、歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学の学問分野を広くカバーするカリキュラムにより、電気系、情報系の学問基礎の体系的な修得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成します。
建築・都市環境工学科	建築学と土木工学を基礎とし、ますます顕在化する社会基盤施設の維持・保全管理、国土の強靱化、少子高齢化社会への対応、環境調和型の生活空間の構築等、安全・安心で快適な社会生活環境の実現に貢献する実践力ある人材を養成します。
物質・生命化学科	高性能・高機能な材料・繊維の創製に向けた教育・研究、化学製品の合成・開発・利用を指向した物質の探求、医学・農学と工学の融合分野への応用を目指したバイオテクノロジー教育などを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成します。
応用物理学科	工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・応用能力を修得するとともに、総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び、課題解決につなげる力、グローバルな行動力、倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成します。

(2) 求める学生像

(2-1) 知識, 能力, 意欲等

工学部では、養成する人材像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

1. グローバルイマジニアとして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有する人
2. 高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、理工学分野の基礎となる知識及び実践力を習得している人
3. 正確な文章読解, 論理的な記述, 適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
4. 豊かな人間性, 周囲との協調性, 奉仕の精神を有し, 柔軟な発想力をもって課題解決に向け主体的に行動できる人

特に、各学科では以下のような入学者を求めます。

機械・システム工学科	<ol style="list-style-type: none">1. ものづくりに興味があり, 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学の基礎となる数学や理科が好きな人2. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学に関する専門的な知識を身につけたい人3. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学のエンジニアとして, ものづくりにより社会に貢献する意欲を有する人
電気電子情報工学科	<ol style="list-style-type: none">1. 電気・電子・情報分野を伝承するとともに, 新たな創造に挑戦したい人2. 電気, 電子, コンピュータを学ぶための数学や物理が好きな人3. 論理的思考力を問題解決に活かしたい人
建築・都市環境工学科	<ol style="list-style-type: none">1. 建物のデザインや安全性, 建築環境の改善や創造に興味を持つ人2. 社会基盤や都市のデザイン, 安全性, 都市環境の改善や創造に興味を持つ人
物質・生命化学科	<ol style="list-style-type: none">1. 物質や生命の不思議にワクワクする人2. 創造する化学にチャレンジしたい人3. 新素材, 繊維, バイオに興味がある人
応用物理学科	<ol style="list-style-type: none">1. 物理や数学に基づいて, ものごとを基本に戻って考える能力を有する人2. 先端科学技術分野への強い興味を持つ人3. ものづくりや実験の基礎となる知識・技能を有している人

(2-2) 入学までに学習しておくことが期待される内容

工学部では、高等学校段階までの数学や理科に関する基礎学力が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また、それら以外の教科に関する知識も、ものごとを多面的にとらえ、専門知識を「安全で安心な社会の創造」に結び付けるための基礎となります。これらのことから、高等学校段階では、数学や理科はもちろん、それ以外についても幅広く学習し、視野を広げておくことを期待します。

(3) 受け入れる学生に求める学習成果

求める学生像を踏まえ、受け入れる学生に身に付けておいてほしい学習成果は以下の通りです。

- ① 高等学校段階までに学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能
- ② 工学部における学修の基礎である数学や理科に関する知識・技能
- ③ ①と②に基づいた思考力・判断力・表現力
- ④ 志望する学科の専門分野に対する強い興味
- ⑤ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

求める学習成果①～⑤と学力の3要素との対応関係、および学習成果を評価するために用いる学力検査や資料等は以下の通りです。総合的な評価・判定を行うにあたり重視するものに○を付しています。ただし、○を付していないものでも、その評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響します。

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める学習成果 (①～⑤は前述の「受け入れる学生に求める学習成果」の項目)		①, ②, ④	③	④, ⑤
一般選抜 (前期日程)	全学科	○ 大学入学共通テスト	○ 大学入学共通テスト ○ 個別学力検査	調査書
一般選抜 (後期日程)	全学科	○ 大学入学共通テスト	○ 大学入学共通テスト ○ 個別学力検査	調査書
学校推薦型選抜 I	EI	○ 調査書 ○ 面接 (口述試験を含む)	○ 面接 (口述試験を含む) ○ 志願理由書	○ 推薦書, 調査書, 志願理由書 ○ 面接 (口述試験を含む)
学校推薦型選抜 I (高大接続型入試)	AC	○ 調査書 ○ 面接 (口述試験を含む)	○ 面接 (口述試験を含む) ○ 志願理由書	○ 推薦書, 調査書, 志願理由書 ○ 書 ○ 面接 (口述試験を含む) ○ プレゼンテーション
総合型選抜 II	全学科	○ 大学入学共通テスト ○ 調査書	○ 大学入学共通テスト ○ 面接 (口述試験を含む) ○ 志願理由書 ○ 自己推薦書	○ 自己推薦書, 調査書, 志願理由書 ○ 面接 (口述試験を含む)
私費外国人留学生 選抜	全学科	○ 日本留学試験 成績証明書 ○ TOEFL	○ 面接及び口述試験 (簡単な筆記試験を行う場合もある)	○ 面接及び口述試験 (簡単な筆記試験を行う場合もある)

MS:機械・システム工学科, EI:電気電子情報工学科, AC:建築・都市環境工学科, MB:物質・生命化学科, AP:応用物理学

(4) 入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、一般選抜（前期日程、後期日程）、学校推薦型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、私費外国人留学生選抜、第3年次編入学入試を実施します。それぞれの選抜においては、求める学習成果を踏まえ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

【一般選抜】

大学入学共通テスト並びに個別学力検査及び調査書を用いて評価・判定します。

<前期日程>

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	大学入学共通テスト（5教科7科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学、物理）により、数学と物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	大学入学共通テスト（5教科7科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学、物理又は化学）により、数学と物理又は化学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

<後期日程>

全 学 科	大学入学共通テスト（5教科7科目）により、基礎的学力を総合的に評価します。さらに、個別学力検査（数学）により、数学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を、その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により、能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
-------	---

【学校推薦型選抜Ⅰ】

出身学校長の推薦に基づいて、大学入学共通テストを免除し、調査書等を活用して評価・判定します。

電気電子情報工学科	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書及び面接（口述試験を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
建築・都市環境工学科 （高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し、推薦書、調査書、志願理由書、面接（口述試験を含む）及びプレゼンテーションの結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。

【総合型選抜Ⅱ】

大学入学共通テスト、書類審査、面接等を組み合わせて評価・判定します。

全 学 科 共 通	第1次選考では、書類審査により文章力や自己アピール力等の評価を行うとともに、調査書等に基づいて基礎学力の評価を行います。最終選考では、大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に評価し、さらに面接（口述試験を含む）により、目的意識・意欲、表現力等の評価及び理数系科目の学力を評価します。以上を総合して、能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を評価・判定します。
-----------	--

【私費外国人留学生選抜】

真に修学を目的とした志願であることの確認も含め、能力・意欲・適性等を評価・判定します。

全 学 科 共 通	日本留学試験及びTOEFLの成績、並びに、面接、口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある）及び出願書類により、日本語能力と理数系科目の学力を中心とした能力、意欲、適性、目的意識等を総合的に評価・判定します。
-----------	---

工学部の所属コース等の決定

機械・システム工学科，電気電子情報工学科，建築・都市環境工学科，物質・生命化学科において，所属するコースは，2年後期終了時まで本人の希望と入学後の成績等により決定します。

各学科のコースは次のとおりです。

【工学部】

学 科	コ ー ス	コース配属時期等
機械・システム工学科	機械工学コース	応用物理学科を除く各学科のコース選択は2年後期終了時までに行い，その後各コースへの配属となります。 なお，機械・システム工学科の原子力安全工学コースの学生は，コース配属の3年次から敦賀キャンパスにおいて教育を受けます。
	ロボティクスコース	
	原子力安全工学コース	
電気電子情報工学科	電子物性工学コース	
	電気通信システム工学コース	
	情報工学コース	
建築・都市環境工学科	建築学コース	
	都市環境工学コース	
物質・生命化学科	繊維・機能性材料工学コース	
	物質化学コース	
	バイオ・応用医工学コース	
応用物理学科	※コース選択はありません	

II. 学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない)

1. 募集人員, 出願資格・推薦要件等

学 科	募集人員	1校あたりの推薦者数	出願資格・推薦要件
電気電子情報 工 学 科	5	制限無し	高等学校(特別支援学校の高等部を含む)若しくは中等教育学校の普通科・理数科等以外の学科を令和3年3月に卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たす者 (1) 出身学校長が、本学科の学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適正等を備えていることを認め、責任をもって推薦できる者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者
建築・都市環境 工 学 科	3		
合 計	8名		

注1) 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

- 2) 入学手続者数が募集人員に満たない場合は、一般選抜(前期日程)からその不足分を補充します。
- 3) 高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程として認定した在外教育施設を含みます。
- 4) 「普通科, 理数科等」とは、高等学校設置基準第6条第1項に定める「普通科」、同条第2項第9号に定める「理数に関する学科」のことをいいます(同条第3項に定める「総合学科」で専門教育に関する教科・科目の修得単位数が20単位未満の者を含む)。

2. 出願手続

出願手続は、インターネット出願システムでの出願登録及び入学検定料の支払を行った後、必要な書類等を郵送することにより、出願完了となります。

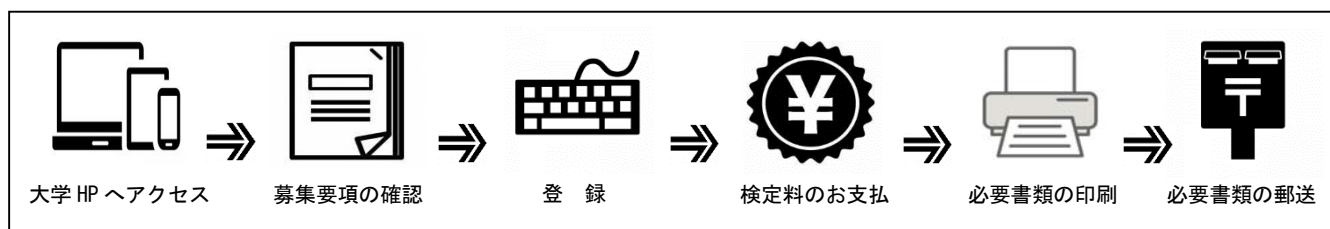
(1) 出願期間

令和2年11月2日(月)～9日(月)最終日17時までに必着

- ① 出願書類等は市販の角型2号封筒(240mm×332mm)に、インターネット出願登録サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、本学入試課へ郵送(書留速達)するものとし、出願期間最終日の17時までに必着するよう十分配慮し送付してください。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち出願期間最終日の2日以前の発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。
- ② 郵便局で交付される書留郵便受領証等は、大切に保管してください。

(2) 出願方法

○インターネット出願の流れ



インターネット出願により行います。出願完了には下記①～④のすべての手続きが必要です。

①インターネットによる出願情報の登録

出願登録可能期間：令和2年10月26日（月）9：00～11月9日（月）17：00

②入学検定料の支払

入学検定料 17,000円

入学検定料の詳細は、9ページの「(3) 検定料の支払方法」を参照してください。

③必要書類等の印刷

④必要書類等の郵送

インターネット出願登録サイトへは、福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) からアクセスできます。

出願書類を郵送する際は、市販の角型2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願登録サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、書留速達で郵送してください。

提出先 〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

(注) インターネット出願は、インターネットでの登録及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続き完了とはなりません。出願期間内に、8ページから9ページの提出書類を郵送（必着）することで完了となります。

(3) 出願書類等

①インターネット出願登録サイトから印刷するもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
出願確認票（提出用）	インターネット出願登録後、申込確認ページより A4 サイズでカラー印刷し、提出してください。 注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。 出願確認票は、入学検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了していないと印刷できません。
出願封筒用宛て名ラベル	インターネット出願登録後、申込確認ページより A4 サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。 また、出願後受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。 封筒は、市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）を使用し、書留速達で郵送してください。

②インターネット出願登録サイトでアップロード作業が必要なもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
証明写真データ	インターネット出願登録及び入学検定料支払後、登録完了メールに記載されている URL から、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 注) 志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無帽・正面向き・無背景・直近 3 か月以内に撮影した 100KB～5MB の jpg 又は png 形式のデータを使用してください。

③その他必要な提出書類

出 願 書 類 等	提出者	留 意 事 項 等
推薦書	全員	本学ホームページ (https://www.u-fukui.ac.jp/) 「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式を A4 サイズで両面印刷の上、出身学校長が作成してください。 志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を特記事項に記載してください。その際、志願者の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を有するものがあれば記載してください。
志願理由書	全員	本学ホームページ (https://www.u-fukui.ac.jp/) 「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式を A4 サイズで両面印刷の上、志願者本人が必ず自書してください。
調査書	全員	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを同封してください。学習成績概評 A 段階に属し、人物、学力ともに優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に㊤の標示とその理由を記載してください。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響による、高等学校における臨時休業や大会、資格・検定試験の中止等を踏まえ、第 3 学年の評定、出席日数、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載不可や記載が少ないこと等をもって、志願者を不利益に取り扱うことはありません。

<p>取り組みと成果に関するレポート</p>	<p>建築・都市環境工学科志願者</p>	<p>本学ホームページ (https://www.u-fukui.ac.jp/) 「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式を A4 サイズで両面印刷の上、志願者本人が作成してください。</p> <p>高等学校等での主な取り組みとその成果及び取り組みを通じて得られた問題意識について、具体的に 800 字程度で記述してください。取り組みを証明する資料があれば添付し、必ず資料のリストを提出してください。</p> <p>なお、高等学校等での取り組みは、大学での学びや社会活動につながる次のようなものとします。</p> <p>A. 高等学校等の授業などの取り組み <input type="checkbox"/> 高等学校等の授業などにおける課題探究活動 <input type="checkbox"/> 指導的役割を担った高等学校等での活動 など</p> <p>B. 大学と連携した事業への参加及び取り組み <input type="checkbox"/> 高等学校等と大学とが連携した課題探究活動への参加 など</p> <p>C. 関心や興味を持ったテーマに関する自由研究や社会活動の自発的な取り組み <input type="checkbox"/> 地域での社会活動の成果 <input type="checkbox"/> ボランティア活動の参加とその活動 <input type="checkbox"/> 授業外での課題探求活動 など</p> <p>D. 社会的に評価を得ているその他の活動 <input type="checkbox"/> 研究や創作発表などの成果や評価 <input type="checkbox"/> 各種大会・コンクールや顕彰等の記録 など</p>
------------------------	----------------------	--

- 注1) やむを得ない事由により調査書が得られない場合は、出願資格を証明する書類及び単位修得証明書等をもって調査書に代えることができます。ただし、出願前に本学入試課に問い合わせ確認してください。
- 2) 出願書類等の受理後は、どのような事情があっても出願書類の返還、並びに記載事項の変更は認められません。
 - 3) 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。
 - 4) 出願書類等の記載が事実と相違していることが判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

(4) 検定料の支払方法

- ① 検定料 17,000円
検定料の他に、支払手数料（自己負担）が必要です。
- ② 支払期間 令和2年10月26日（月）～11月9日（月）*出願期間とは異なります。
ただし、出願書類等は郵送に限り、出願期間最終日17時までに必着であることに特に注意して早めに支払ってください。
- ③ 支払方法 コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払）、クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club）及びネットバンキングのいずれかで支払可能です。
- ④ 支払に際しての留意事項
 - ア. 銀行窓口での支払はできません。
 - イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
 - ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
 - エ. 支払手数料は、入学志願者本人の負担となります。
- ⑤ 検定料の返還に関しての留意事項
出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の検定料は返還しません。
次の該当者は、速やかに本学入試課に問い合わせてください。
ア. 検定料を支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
イ. 検定料を誤って二重に支払った場合

(5) 受験票の印刷

令和2年11月13日（金）9時から、インターネット出願登録サイトより受験票の印刷が可能になります。申込確認画面からログインし、A4サイズで印刷してください。

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。なお、氏名等に間違いがある場合には、本学入試課へ連絡してください。

連絡先 0776-27-9927

(6) 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学部への入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以下の通り本学入試課（電話 0776-27-9927）に事前相談の申請をしてください。

また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要になった場合には、速やかに電話等により相談してください。

1. 相談申請の期限

令和2年10月12日（月）まで

2. 事前相談の申請方法や受験上の配慮の一例等

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「トップページ」→「受験生の方へ」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

3. 選抜方法等

(1) 選抜方法等

受験者は、受験票及び筆記用具等を持参し、集合場所（最終頁の建物配置図を参照）に集まってください。

選考日 令和2年11月21日（土）（9時00分から試験開始）

集合時間 8時00分～8時20分

集合場所 総合研究棟 I 1階 総合大1講義室

学 科	試験時間	試験科目等
電気電子情報工学科	9:00～17:00 面接	面接（口述試験）では、学科に関わる基礎的能力（基礎的学力、論理的思考力及びコミュニケーション能力など）と学習への意欲、関心及び適性を総合的に評価します。
建築・都市環境工学科	9:00～17:00 面接及びプレゼンテーション	面接（口述試験）では、学科に関わる基礎的能力（基礎的学力、論理的思考力、読解力、表現力及びコミュニケーション能力など）と学習への意欲、関心及び適性を総合的に評価します。 プレゼンテーションでは、出願時に提出された高校での取り組みと成果に関するレポートについて口頭発表してもらいます。なお口頭発表は、パソコンの使用、必要な資料の持ち込みを可とします。引き続き、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を含めた面接を行います。

*昼食の持参が必要な場合は、受験票の発送時に併せて通知します。

<受験上の注意>

- 注1) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- 2) 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。
- 3) 計時機能以外の機能をもった時計の使用は認めません。
- 4) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。
- 5) 試験終了までは、退室を認めませんが、疾病等やむを得ない場合には、挙手して監督者の指示に従ってください。
- 6) 監督者の指示に従わない場合や、不適切な行為のあった者には退室を命じることがあります。
- 7) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（HBまたはB）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）、目薬です。
- 8) 面接の終了時間は、受験者により異なります。
- 9) 試験当日等に、JR福井駅や試験場周辺で合否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので十分注意してください。
- 10) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、余裕をもって到着するように十分注意してください。万が一、風雪害、交通障害等により試験実施日時等を変更する場合は、福井大学ホームページに随時情報を掲載してお知らせします。

(2) 配点

学 科	学校長の推薦書, 志願理由書	調査書	面 接	プレゼンテーション	合 計
電気電子情報工学科	各 30 点	30 点	300 点	—	390 点
建築・都市環境工学科	各 30 点	40 点	200 点	200 点	500 点

4. 合格者発表等

令和2年12月9日（水） 10時

本学ホームページ(<https://www.u-fukui.ac.jp/>)の「受験生の方へ」内に合格者の受験番号を発表するとともに、合格者あてに合格通知書関係書類を郵送します。不合格者への通知は行いません。なお、本学入試課掲示板での合格発表は行いません。

また、出身学校長には当該校からの志願者全員の結果通知書を郵送します。電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

5. 入学手続

合格者には、合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付するので、内容をよく確認して手続を行ってください。

(1) 入学手続期間・方法

入学手続期間 令和3年2月12日(金)～17日(水)

入学手続書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、本学入試課へ郵送(書留速達)するものとし、入学手続期間内に必着とします(最終日は17時までに必着)。

期限後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください(期間前到着は可、持参提出は不可)。

(2) 入学手続時に要する経費

① 入学料 282,000円(予定額)

② 授業料 前期分 267,900円【年額535,800円】(予定額)

入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

(3) 留意事項

① 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了してください。

なお、入学手続を完了しない場合は、本学学校推薦型選抜Ⅰ合格者としての権利を失います。

② 学校推薦型選抜Ⅰの合格者は、学校推薦型選抜の趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然であることから、前期・後期日程試験の合格者とはなりません。

入学手続を完了したときは、これを取り消して、他の国立大学へ入学手続をとることは認められません。

ただし、特別な事情により入学辞退の必要が生じ、令和3年2月17日(水)15時までに「学校推薦型選抜Ⅰ入試入学辞退願」(具体的な理由を明記し、本人が署名・押印したもの)を本学学長あてに提出し、入学辞退を許可された者を除きます。

③ 大学入学共通テスト(特例追試験)を受験した者の学校推薦型選抜の合格者については、他に出席済の大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

④ 入学手続において、令和3年度大学入学共通テスト出願者は、その受験の有無にかかわらず「令和3年度大学入学共通テスト受験票」を提出してください(手続き後、速やかに返却します)。

⑤ 入学前教育の予告

学校推薦型選抜Ⅰの合格者に対し、スクーリングとレポートを課す予定です(スクーリングは、令和2年12月19日(土)に本学で開催予定)。

6. 不合格となった場合の取扱い

学校推薦型選抜Ⅰ不合格者は、本学を含む、国公立大学の一般選抜を受験できます。

ただし、この場合は、令和3年度大学入学共通テストの指定教科・科目の受験、一般選抜の検定料の納付や出願書類の提出等、一般選抜出願先が定める手続が必要です。早めに当該学生募集要項を入手し、志願者本人がその学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。

Ⅲ. 個人情報の利用

出願の際に得た個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すこととなります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない場合で、学術研究の目的のために提供する場合

なお、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、学校推薦型選抜Ⅰの合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試共通テスト受験番号に限る）を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

また、出身学校長には、合否を文書で通知します。

【問い合わせ先】福井大学学務部入試課

IV. 入学志願者のための案内

1. 工学部

福井大学工学部は、5 学科からなる日本有数の大規模な工学教育研究機関です。工学の殆どの分野を網羅し、日々進化する工学にすばやく対応して、皆さんのどのような期待にも応えるでしょう。学部学生定員は 525 名、3 年次編入学生定員 40 名の合計 565 名です。学生の 50%以上が進学する大学院工学研究科は、博士前期課程 3 専攻、後期課程 1 専攻からなり、そこでは、さらに高度な世界水準の教育研究が行われています。全国各地から集まった学生の総数は、現在約 3,000 名に達し、同じキャンパスで、学科・専攻や学年を超え、お互いに切磋琢磨しながら楽しい大学生活を送っています。

福井大学工学部・大学院工学研究科の理念は、Global IMAGINEER の育成です。こころに夢を描き (IMAGINE)、それをかたちにする技術者 (ENGINEER) として社会に貢献する研究開発能力を備えた高度専門技術者を育成することです。夢を形にするためには、最先端の専門的な知識や技術を習得するだけではなく、常に自らを批判的に省み、自分の能力を高め、創造力を育む必要があります。さらに、社会に貢献するためには、広い教養を身につけ、多くの人と関わる積極性とコミュニケーション能力を磨かねばなりません。そのために工学部には色々な教育プログラムが組まれています。例えば、専攻した学科以外の学科の専門科目を自由に履修することも可能です。特に系統的に履修した場合には、その分野を副専攻としたことを認定します。また、工学部先端科学技術育成センターでは最新の設備を整え、学生が学科や学年を超えてグループを構成し、創造的・学際的なモノづくりや調査・研究プロジェクトに取り組むことを支援しています。このような本学部の教育は、大学外の専門家による評価も高く、文部科学省が全国の大学から優れた教育を選ぶ「特色ある大学教育支援プログラム」や「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」にも採択されています。

【工 学 部】

機械・システム工学科

電気電子情報工学科

建築・都市環境工学科

物質・生命化学科

応用物理学科

【大 学 院】

工学研究科博士前期課程

産業創成工学専攻

安全社会基盤工学専攻

知識社会基礎工学専攻

【大 学 院】

工学研究科博士後期課程

総合創成工学専攻

学位及び教員免許状

工学部の卒業者は学士（工学）の学位が授与されます。また、所定の単位を修得すれば次の免許状を取得できます。

学 科 名	高等学校教諭1種
機械・システム工学科	工業
電気電子情報工学科	工業
建築・都市環境工学科	工業
物質・生命化学科	理科
応用物理学科	理科

2. 入学時の諸経費

(1) 入学料, 授業料

種 別	金 額	備 考
入学料	282,000円 (予定額)	入学時1回限り
授業料	年額 535,800円 (予定額)	年2回（前期5月、後期11月）に分けて納入してください。また、申し出により前期分を納入の際に後期分（前期と同額）も一括して納入することができます。なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料及び授業料免除

「大学等における修学の支援に関する法律」により、日本学生支援機構給付型奨学金受給者は、入学料・授業料の全部または一部が免除となります。

詳細は、本学が送付する入学手続要項及び本学ホームページ等でお知らせします。

(2) 保険

傷害保険及び賠償責任保険

本学では、教育研究活動中の事故を補償するために、入学時に学生全員が下記の傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

なお、大学生協等で同等の傷害保険及び賠償責任保険に加入している場合は、この限りではありません。

学生教育研究災害傷害保険(通学特約付)	保険料	4年間分	2,650円
学研災付帯賠償責任保険	保険料	4年間分	1,360円

3. 学生生活

(1) 奨学金制度

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人の奨学金・育英会の奨学制度があります。

○ 独立行政法人 日本学生支援機構の奨学金 <給付型>

平成29年度に創設された返還不要の給付型奨学金が令和2年度から拡充され、あわせて授業料・入学料が減免されることになりました。経済的に特に厳しい状況にある住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯を対象に、奨学金を給付し、授業料・入学料が減免される制度です。

詳細は下記ホームページにて確認してください。

- ・ 文部科学省（高等教育の修学支援新制度）
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm
- ・ 日本学生支援機構（奨学金の制度（給付型））
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

〈貸与型〉

「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、経済状況や学業成績をもとに採用者を決定します。

なお、日本学生支援機構が定める学業成績・収入基準を満たす場合には、「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。

貸与型の奨学金なので、卒業又は退学後は必ず返還しなければなりません。

種類及び貸与月額

〈学部学生〉

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	【自宅月額（自宅通学者）】 ・最高月額 45,000円 ・最高月額以外 20,000円又は30,000円 【自宅外月額（自宅外通学者）】 ・最高月額 51,000円 ・最高月額以外 20,000円, 30,000円 又は40,000円	無利子 ※自宅外通学者は「自宅月額」「自宅外月額」の中から月額を選択することが可能。 ただし、申込時における家計支持者の年収が一定額以上の場合には各区分の最高月額以外の月額から選択する。
第二種奨学金	20,000円から120,000円までの1万円単位の金額の中から選択	有利子（在学期間中は無利子） 利率は固定方式、又は見直し方式から選択

貸与の基準や金額等については変更される場合がありますので、奨学金の利用を予定している年度の開始前（3月初旬以降）に、日本学生支援機構のホームページ（<https://www.jasso.go.jp/>）にて改めて確認してください。

○ 大学独自奨学金

◆福井大学基金予約型奨学金

福井大学への進学を強く希望している受験生（現役生対象）に対し、入学後の修学に必要な経済的支援を行うことを目的とした奨学金です。入学前に奨学金を申請し、内定した場合、入学後に30万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

詳細は、本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「トップページ」→「受験生の方へ」内の「学生生活」[福井大学基金予約型奨学金](#)から確認してください。

◆福井大学学生修学支援奨学金

福井大学基金及び福井大学運営費による給付型奨学金制度です。
経済的困窮度の高い者から選考予定です。

◆福井大学生協奨学金

福井大学生生活協同組合からの寄附金による奨学金制度です。
経済的困窮度の高い者から選考予定です。

○ 都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板等で案内しますので、申請を希望する学生は、奨学金窓口にお問い合わせください。

*奨学金制度等を利用する際に、入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には、各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

健康管理のため、文京キャンパスに保健管理センターがあり、健康について医師等の診断や相談を受けることができます。

また、学生の定期健康診断は、春期に行っています。

(4) 相談窓口

履修、生活、就職、人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について、相談に応ずる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には、次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で、男女は階別）。

11月上旬に大学のホームページに入居者募集要項を掲載しますので、入居希望者は内容をよく確認し、入居申請準備をしてください。

名 称	定員	新入生入居 募集人員	構 造	室定員	寄宿料	光熱水料等	所 在 地
国際交流 学生宿舎	209人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建1棟 4階建2棟	1人	月額 5,800円	月額 約10,000円 退去クリーニング 費等 約20,000円 (入居時前払い)	福井市文京5-13-10 (文京キャンパスから 徒歩約8分)

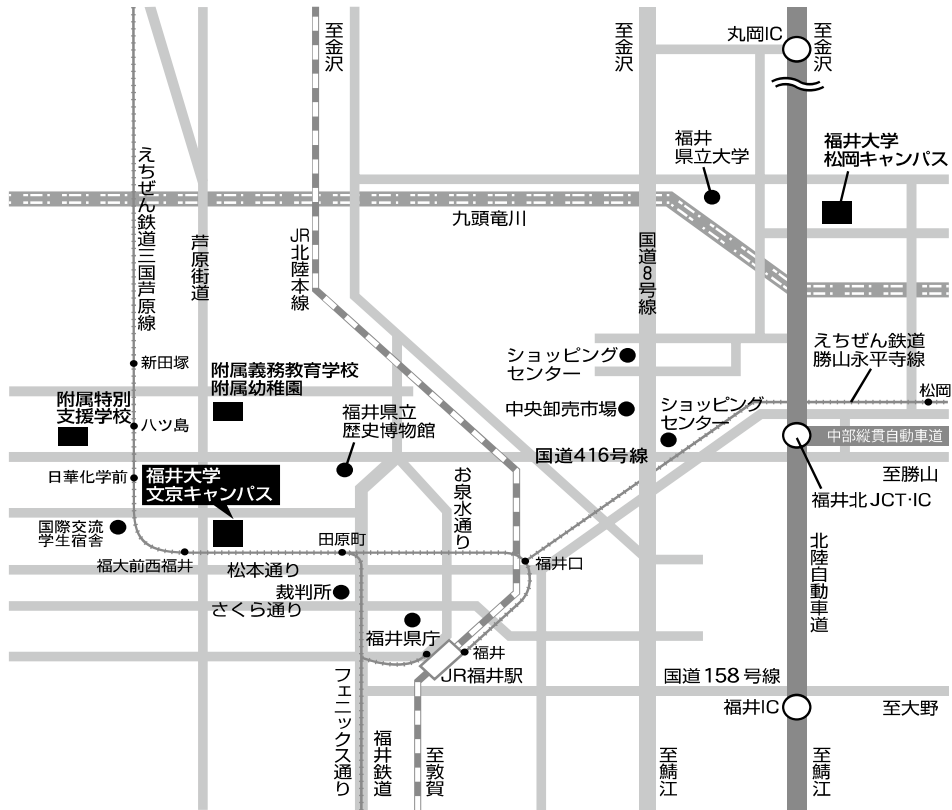
※寄宿料については改定（値上げ）する場合があります。

(6) その他

よりよい学生生活のために食堂、売店などの福利厚生施設があります。また、遠隔地の学生のために下宿・アパート等の紹介を行っています。

詳細は、福井大学生生活協同組合（電話0776-21-2956）にお問い合わせください。

福井大学文京キャンパス位置図



■文京キャンパスへの経路

- バス JR福井駅(約10分)→福井大学前下車
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
<http://bus.keifuku.co.jp/>
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅→福大前西福井駅下車
[JR福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
<http://www.echizen-tetudo.co.jp/>
- タクシー JR福井駅(約10分)→福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT-ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

交通機関(時刻表等)

JR西日本	http://www.jr-odekake.net/
京福バス	http://bus.keifuku.co.jp/
えちぜん鉄道	http://www.echizen-tetudo.co.jp/

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都→湖西線経由→福井
(特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車で 大阪・京都→<名神>→米原JCT→<北陸>→福井IC、福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都→<名神・北陸>→福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

- JRで 名古屋・静岡→米原経由→福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車で 名古屋→<名神>→米原JCT→<北陸>→福井IC、福井北JCT・IC(約2時間)
- 高速バスで 名古屋→<名神・北陸>→福井(約2時間50分)

東京方面から

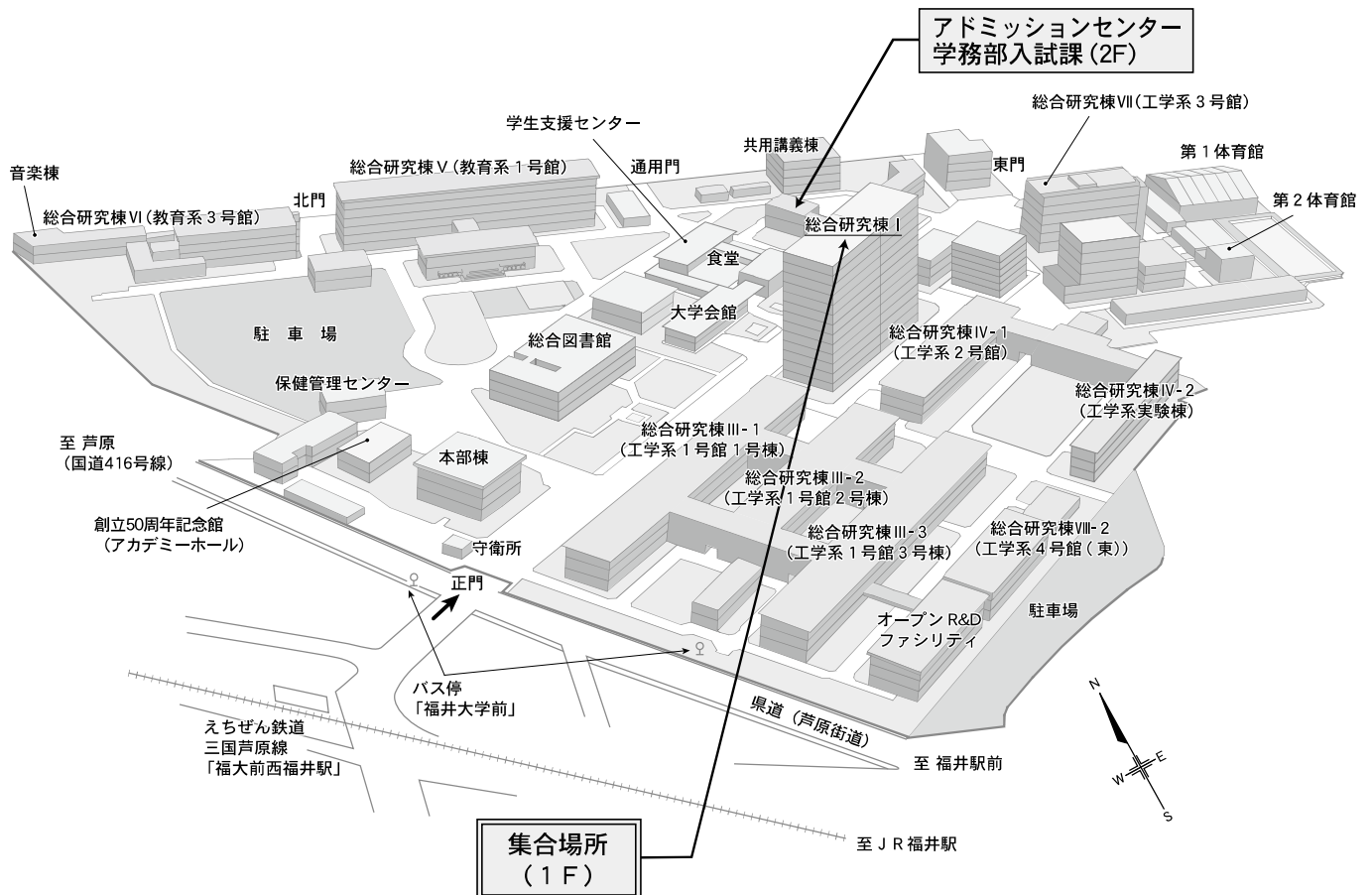
- 飛行機で 東京羽田→小松空港(1時間)→福井(連絡バス1時間)
- JRで 東京→米原経由→福井(新幹線・特急3時間30分)
- 自動車で 東京→<東名・名神>→米原JCT→<北陸>→福井IC、福井北JCT・IC
(約6時間30分)
※高速バスもあります。

金沢・新潟方面から

- JRで 金沢・新潟→福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車で 金沢→<北陸>→丸岡IC、福井北JCT・IC、福井IC(約1時間)



福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1

TEL 0776-27-9927

＜注意＞

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
[ホームページ<https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。